

〔国際会議開催〕

| | | |
|--------|---|---------|
| 申請者 | 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 特任研究員 石下 円香 | 2205001 |
| 国際会議名称 | The 15th NTCIR Conference on Evaluation of Information Access Technologies 第 15 回 NTCIR 情報アクセス技術評価に関する会議 | |
| 開催期間 | 2020 年 12 月 8 日～12 月 11 日 | |
| 開催場所 | オンライン開催 | |
| 申請者の役割 | Local Arrangement Chair | |

概要：

NTCIR は、情報アクセス技術について世界各国からの研究者が集い、新しい技術課題について共通の研究基盤において研究を進め、各チームの成果の比較評価によって、競争と協調を通じた集中的な研究の推進をめざす国際プロジェクトである。1997 年末にプロジェクトを開始し、1 年半を 1 サイクルとして、各サイクルの終わりにその成果発表と集中的議論の場として国際カンファレンスを開催してきた。情報通信の重要分野であるウェブ検索やユーザ行動モデリングなどの研究といった研究基盤について、ともに議論する場として、高い学術的な価値を持つ。

2020 年 12 月 8 日（火）から 11 日（金）に、第 15 回 NTCIR 情報アクセス技術評価に関する会議を開催した。新型コロナウイルスに関わる状況を考慮し、今回はオンライン開催で行った。22 か国から計 277 名（国内 141 人、海外 136 人）が参加した。本会議の発表件数は 101 件で、口頭発表 45 件、ポスター発表 56 件であった。

基調講演は、Ben Carterette 博士、及び、Xiao-li Meng 教授をお迎えし、質疑では活発な議論が行われた。招待講演では、Ellen Voorhees 博士、Nicola Ferro 教授、Gareth Jones 教授、Cathal Gurrin 教授の 4 名による関連プロジェクトの講演が行われた。

本会議の 3, 4 日目には、Web 検索と研究の再現性を検証する研究部門（WWW-3）や、多言語の構造化知識構築（SINRA2020-ML）、対話データの分類や評価（DialEval-1）、ライフログデータの検索や解析（MART）、政治的な質問応答の分析（QA Lab-PoliInfo-2）、データ検索（Data Search）、経済データ解析（FinNum-3）といった 7 つの技術課題についてのセッションや、2 度のポスターセッションが行われた。情報検索にかかわる最先端の研究成果とその評価基盤についての研究発表、活発な議論と意見交換が行なわれ、今後の方向性についても議論を行った。